

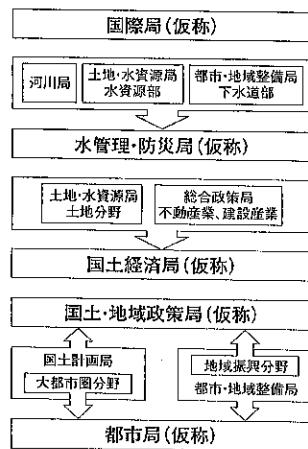
11年度組織改正要求で14局体制

国交省

01年1月に建設、運輸、国土、北海道開発の4省庁を統合して発足した国土交通省。本省組織は大田官房と13の局で構成され、局内の細かな部署の改編を除けば、大枠は発足当初から変わっていない。本年度に入ってから国交省は所管分野の成長戦略を策定。そこに掲げた政策目標の達成に向けてより機能的な組織に再構築する必要があるとして、11年度の組織改正要求で「国際局(仮称)」「の新設などを含む大幅な組織再編を打ち出した。誕生から10年を迎える巨大官庁が描いた新組織の青写真真は、

(編纂部・遠藤愛子)

組織再編の概要



「国際局」を新設

水管理、都市、地域部門も再編

「縦割り」が批判されてきた行政の効率化・集約化を進める行政改革の一環で、中央省庁が抜本再編されて10年近くがたつ。中でも4省庁が統合された国交省は巨大組織で、所管分野も多岐にわたる。現在の本省13局をみると、建設省の河川、道路、住宅の3局と、運輸省の鉄道、自動車交通、港湾、航空の4局の計7局がほぼそのまま移行。建設省の建設経済局と運輸省の運輸政策局が統合して総合政策局、運輸省の海上交通局と海上技術安全局が合わさって海事

局、建設省の都市局と国土庁の地方振興局がまじって都市・地域整備局、国土庁の水資源部と土地局が合体して土地・水資源局、国土庁の計画・調整局と大都市圏整備局が統合して国土計画局となっている。北海道開発局は北海道局となり、国土庁にあった防災局は中央防災会議が置かれる内閣府に移った。

た分野が密接にかかわり合い、総合的・一体的な取り組みが不可欠。統合官庁のメリットを最大限に発揮するためには、組織のあり方が昔も今も重要課題だ。

11年度の組織改正要求で国交省は、今年5月に策定した成長戦略を踏まえて、省内の横断的体制の確立や、関連行政分野の一元化など、既存の組織体系の抜本見直しを打ち出した。

新組織は、現在より1局多い14局体制。その具体的な内容をみると、「新設する部署名などはいずれも仮称」で、まず「国土」ともいえるのが「国際局」の創設だ。成長戦略の大きな柱である高速道路や鉄道、港湾、水インフラなどの海外展開に向け、省内の国際関

係の関連部署を集約することで、官民連携や企業の海外進出支援の体制強化と対応の迅速化を図る。

河川局については、土地・水資源局の水資源部、都市・地域整備局の下水道部を一緒にして「水管理・防災局」に衣替えする。民主党政権下で進む「できるだけゲームに頼らない治水」への政策転換に沿って、水関連行政を一元化し、流域全体の一体的・総合的管理を推進する狙いがある。

成長戦略の土台となる土地行政を所管する土地・水資源局の土地関連部署と総合政策局の不動産部門、国土のインフラ形成を担う建設省を所管する総合政策局の建設産業部門を集めて「国土経済局」

都市・地域整備局を都市整備部門と地域整備部門、国土計画局を大都市圏部門と地域振興部門にそれぞれ分けた上で、都市・大都市圏整備を所管する「都市局」と、地域整備・地域振興を所管する「国土・地域政策局」に再編。都市局が大都市の国際競争力強化のビジョン(大都市圏戦略)と実現手段(規制緩和・金融支援など)の具体化、国土・地域政策局が国土の長期展望と地域振興行政に取り組み部門として機能の明確化を図る。

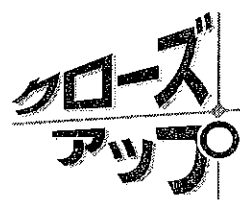
既存部署の機能強化に向けた組織改革も打ち出している。

総合政策局には、地域のニーズや市場動向を踏まえて公共・交通政策を計画的に推進する「公共交通政策部」と、PPP・PFIなどを活用した社会資本整備の普及拡大に取り組み「官民連携企画推進課」を新設する。航空局は現行の4部体制から「航空ネットワーク部」「航空安全部」「航空交通部」の3部に再編。自動車交通局は「自動車局」に改称することも技術安全部を廃止し、局内の課

これらの組織再編案の概要が公表された8月27日の記者会見で、前原誠司国交相(当時)は「発足から10年を迎える国交省だが、いまだに統一されていない部分がある」と指摘した上で、「局のあり方、既存の局の中でも新たな政策に対応する部署の創設を要求していく」との考えを示した。

現在、総務省と再編案に対する折衝作業を進めており、最終的な結論は年末に出る見通しだ。国交省幹部は「10年前の行革の時とは違い、新たな政策ニーズに対応する前向きな組織改革を受け止めている」と話す。

人口減少や少子・高齢化、景気の低迷など社会・経済情勢の大きな変化が指摘される中、国交省が所管する分野も新たな時代への対応が急務になっている。組織再編後の国交省が、成長戦略に掲げた施策を素早く具体化し、実りある成果を生み出せるかどうか、その実行力が問われることになりそうだ。



国交省の最大の仕事である国土や社会資本の整備は、道路、鉄道、空港、港湾、河川、都市開発といっ

問われる成長戦略の実行力



庁舎の正面玄関に「国土交通省」の看板を掛ける。属千景初代国交相 011年1月